

三方ヶ原の戦い ゆかりの地



浜松市北区根洗町 石碑:三方原墓園駐車場敷地内(北区根洗町)
交/JR浜松駅より遠鉄バス⑮乗り場から約35分。「三方原墓園」下車

40 みかたがはらせんじょう 三方ヶ原古戦場

元龜3年(1572)、武田信玄と徳川軍が浜松市郊外の三方原台地で激突した戦い。家康の生涯で最大の敗戦といわれ、兵の数でも軍術でも劣る徳川軍は総崩れとなった。



浜松市北区引佐町伊平 交/天竜浜名湖鉄道「金指駅」より車で約20分

41 ほとけざかせんじょう 仏坂古戦場

三方ヶ原の戦いの前哨戦とされる仏坂の戦い。武田軍が井平城近くの仏坂に迫り、徳川軍と激戦を交えた。付近には、戦死者を手厚く葬った「ふろんぼ様」が祀られている。

44 はまつじょう 浜松城

徳川家康が元龜元年(1570)に築城し、29歳~45歳までの17年間に過ごした浜松城。天正3年(1575)、徳川家康に仕えた井伊直政は、家康の小姓として仕え、武功を重ねていった。家康が出世の礎を築き、歴代城主の多くが後に幕府の重要ポストに登用されたことから、別名「出世城」とも呼ばれている。現在の天守閣は昭和33年(1958)に、天守門は平成26年(2014)に再建されたもの。



浜松市中区元城町100-2 ☎053-453-3872 開館時間:8:30~16:30
料金:大人(高校生以上)200円 ※中学生以下は無料
交/JR浜松駅より遠鉄バス ①⑬乗り場から約5分。「市役所前」下車 徒歩約6分



浜松市南区頭陀寺町(頭陀寺第一公園の一角) 交/JR浜松駅より遠鉄バス⑮乗り場から約10分。「頭陀寺」下車徒歩約5分

45 まつしたやしきあと・ずだじょうあと 松下屋敷跡(頭陀寺城跡)

引間城(ひくまじょう)の飯尾氏に仕えていた、松下氏の館跡と伝わる場所。ここ一帯は頭陀寺城とも呼ばれている。直政の母の再婚相手である松下清景は松下氏の一門で、幼い直政(虎松)を養子に迎え、徳川家康に仕えることに貢献した。

38 だいぼさつのさか 大菩薩の坂

平野から三方原台地上る勾配の強い坂道。武田軍は欠下城南側の大菩薩坂を上り、大菩薩山に陣を構えたとされている。

浜松市東区有玉西町



[犀ヶ崖資料館] 浜松市中区鹿谷町25-10
開/9:00~17:00 休/月曜(祝日の場合は翌日)
交/JR浜松駅より遠鉄バス①⑮乗り場から約10分。「浜松北高」下車

39 さいかがかせんじょう 犀ヶ崖古戦場

三方ヶ原の戦いで敗戦後、浜松城に逃げ帰った徳川軍が、犀ヶ崖に布の橋を掛け、武田軍をあざむき襲撃し、追い落とししたといわれる。敷地内の資料館には、三方ヶ原の戦いに関する資料のほか、死者の霊を鎮めるために始まったといわれる遠州大念仏を紹介している。

42 ひくまじょうあと 引間城跡(浜松元城町東照宮)

元龜元年(1570)に拠点を岡崎から浜松へと移した家康は、引間城を拡大し城名を浜松城と改めた。現在、引間城の跡地には浜松元城町東照宮が建っており、出世の聖地と呼ばれ多くの参拝者が訪れている。また、幼少の頃の豊臣秀吉も引間城を訪れたという記録が残っており、家康と秀吉にゆかりのある場所として、2人のブロンズ像「二公像」が設置されている。



浜松市中区元城町111-2
交/JR浜松駅より遠鉄バス⑬⑭乗り場から約5分。「浜松公園入口」下車

43 せいりゅうじ 清瀧寺

謀反の疑いをかけられ自害した信康を供養するため、家康により建立・命名された寺。本堂内陣には、徳川家康の木像や信康の位牌、徳川家歴代将軍の位牌が安置されている。※公開はしていません。



浜松市天竜区二俣町二俣1405 交/天竜浜名湖鉄道「二俣本町駅」から徒歩約10分



浜松市北区細江町気賀8027 交/天竜浜名湖鉄道「気賀駅」より車で約10分

31 こんちいん 金地院

井伊家の姫様、駿河姫の菩提を弔った寺。現在ではみかん園になっている場所に建つ五輪の塔が、駿河姫の墓と伝えられている。



浜松市北区引佐町伊平 交/遠鉄バス「伊平」より徒歩約10分

32 いだらしきよかんあと 井平氏居館跡

直虎の曾祖母、井平河内守安直の娘が誕生した地。井平氏の祖は寛元3年(1245)に、井伊氏から分家した井平四郎左衛門慰直時といわれる。



浜松市北区引佐町奥山1577-1 ☎053-543-0003
交/天竜浜名湖鉄道「金指駅」より車で約15分

33 だいほんざん ほうこうじ 大本山 方広寺

建徳2年(1371)に後醍醐天皇の皇子無文元選禪師によって開創された、禅宗臨済宗方広寺派の大本山。東海屈指の名刹であり、境内には国指定重要文化財の釈迦三尊のほか、七尊菩薩堂や五百羅漢を有する。



浜松市北区三ヶ日町摩訶耶421 ☎053-525-0027 交/天竜浜名湖鉄道「三ヶ日駅」より車で約5分

34 まかやじ 摩訶耶寺

奈良時代に行基菩薩によって開創された寺。鎌倉時代初期に築庭された庭園は、当時の面影を色濃く残し、日本を代表する中世庭園として知られる。

伝統芸能・ひよんどりと井伊家のつながり

引佐地区には、400年以上続く伝統芸能「ひよんどり」が現在も残り、国指定重要無形民俗文化財に指定されている。ひよんどりは火踊りのことで、集落の御堂で田植えから稲刈りに至る農作業を模倣的に演じる。これらの神事を井伊家は代々手厚く庇護してきた。

37 ふくまんじやくしどう 福満寺薬師堂 「川名ひよんどり」

最初の建立は奈良時代末期から平安時代初頭。現在の御本尊薬師如来像は、応永33年(1426)に井伊家の一門、井伊直貞が願主になって新しく像を刻んで祀り替えたといわれる。直虎が梵鐘を寄進したといわれるが、現在は消失している。川名ひよんどりは毎年1月4日開催。

浜松市北区引佐町川名382-2
交/浜松いなさICより車で約10分



27 にのみやしんじや 二宮神社

井伊郷の荘司である三宅氏の始祖・多道間守を祀る神社。元中2年(1385)には宗良親王を合祀。二柱の神霊を祭祀するようになり現社号となった。

浜松市北区引佐町井伊谷306 交/天竜浜名湖鉄道「金指駅」より車で約7分



浜松市北区引佐町井伊谷(井伊城跡東側) 交/天竜浜名湖鉄道「金指駅」より車で約7分

28 あしきりかんのりょう 足切観音堂

戦のさなか、宗良親王が足を負傷し落馬したが怪我はなく、代わりに護持仏の片足が鮮血に染まっていたという伝説が残る。井伊城跡のふもとには、親王の御念持仏、足切観音が祀られている。(非公開)



浜松市北区三ヶ日町福長220-3 ☎053-525-0278
交/天竜浜名湖鉄道「三ヶ日駅」より車で約10分

29 だいふくじ 大福寺

貞観17年(875)に名僧僧待上人が開創、承元元年(1207)に現在地に移設された。宝物殿「聚古館」には、国指定重要文化財、南北朝時代の古文書・瑠璃山年録残編を所蔵。浜納豆の元祖といわれる寺製の福寺納豆も有名。



浜松市北区細江町中川65-2 ☎053-542-1473 交/天竜浜名湖鉄道「金指駅」より車で約10分

30 しょざんほうりんじ 初山宝林寺

寛文4年(1664)に、明国の僧・独湛禪師によって開創された黄檗宗の寺院。明朝伝来の建築様式の仏殿と方丈は国指定重要文化財。

35 てらのほうそうしかんのりょう 寺野宝蔵寺観音堂 「寺野ひよんどり」

六所神社の脇にある観音堂。「青葉の笛」は最初このお堂に寄進され、その後六所神社に奉納されたといわれる。正式には直笛山(ちよくてきざん)宝蔵寺といい、山号に直親の直と笛の字が用いられている。寺野ひよんどりは毎年1月3日開催。

浜松市北区引佐町渡川877
交/浜松いなさICより車で約10分



36 てらのろくしよんじや 寺野六所神社

今川義元に命を預られ、信州の松源寺に隠れ暮らしていた亀之丞(後の直親)。亀之丞が、晴れて井伊谷に帰還する道筋で、寄進したと伝わる「青葉の笛」を所蔵。4年に1度、4月の第1日曜日に公開される。

浜松市北区引佐町渡川823-8 交/浜松いなさICより車で約10分